



報道関係者各位

【WBC2023に関するアンケート調査結果】

侍ジャパンの世界一に感動 95.7% 栗山監督で良かった 95.0%
大谷選手のMVPに納得も「全員野球」を評価する声
知名度アップ1位:ラズ・ヌートバー選手
試合満足度1位:準決勝メキシコ戦
次回 WBC2026 が楽しみ 91.5% WBC をサッカーW 杯のような世界大会に 78.6%

産業能率大学スポーツマネジメント研究所（所長：中川直樹 情報マネジメント学部教授）は、2023 WORLD BASEBALL CLASSIC（以下 WBC2023）大会直後に、全試合の視聴・満足、日本代表選手に関する認知度や「あなたにとっての MVP」の投票、日本選手以外で印象に残った人物や WBC・野球に関する意識調査を、大会直前に実施した1万人アンケートの追跡調査として、全国の1,000人に対して実施しました。

1. 日本代表選手に関する調査（N=1,000）

順位	あなたにとっての MVP		知名度アップ			
	選手名	票数	選手名	大会前認知率	大会後認知率	上昇 Pt
1位	大谷翔平	427票	ラズ・ヌートバー	19.2%	64.9%	+45.7
2位	1人に絞れない	180票	吉田正尚	28.1%	50.9%	+22.8
3位	吉田正尚	115票	源田壮亮	25.2%	44.3%	+19.1

2. 視聴した試合等に関する調査（N=1,000）

順位	観戦率		満足率			
	試合（先攻-後攻）	観戦率	試合・セレモニー	視聴数	満足数	満足率
1位	【決勝】アメリカ 2-3 日本	64.4%	【準決勝】メキシコ 5-6 日本	629	592	94.1%
2位	【準決勝】メキシコ 5-6 日本	62.9%	【決勝】アメリカ 2-3 日本	644	595	92.4%
3位	【準々決勝】イタリア 3-9 日本	53.4%	【決勝】表彰式	141	86	61.0%

3. 日本代表選手以外で印象に残った人物（任意回答）

順位	人物	票数
1位	栗山英樹（侍ジャパン監督）	160票
2位	マイク・トラウト（アメリカ代表キャプテン）	90票
3位	ヌートバー選手の家族	68票

4. 意識調査

WBC2023 視聴者限定（N=715）	
侍ジャパンの世界一に感動した	95.7%
監督が栗山英樹氏で良かった	95.0%
次回 WBC2026 が楽しみだ	91.5%

WBC2023 非視聴者を含む（N=1,000）	
サッカーW 杯のような大会に発展を	78.6%
野球・ソフトボールの五輪種目復帰を	71.2%
野球は試合時間が長いのが欠点	61.0%



1-1. あなたにとっての MVP (N=1,000)

実際の MVP である大谷翔平選手が最多票であるものの、「全員野球」や各選手を讃える声が多く寄せられました。

順位	[背番号] 選手	所属チーム	票数	投票理由
1	[16] 大谷翔平	MLB エンゼルス	427	・まるで漫画の主人公のようだった。(東京都 30 代女性) ・投打にわたる活躍と熱いキャプテンシーでチームを牽引したと思います。決勝戦の声だしにも感動しました。(埼玉県 50 代男性) ・普段、野球を全く観戦しないが、大谷選手のプレーには感動した。(大阪府 30 代女性)
2	1 人に絞れない	—	180	・全員野球でチーム一丸となって勝ち上がってきた感じが伝わってきたので。栗山監督やコーチ陣も含めて！(愛知県 40 代女性) ・それぞれの選手が皆良い働きをして役割を果たしたので一人に決められない。(東京都 60 代女性)
3	[34] 吉田正尚	MLB レッドソックス	115	・大会史上最多打点を記録し、ベストナインにも選出されたから。(東京都 40 代男性) ・準決勝での同点ホームランがなかったら、優勝できていないと思うので。(千葉県 50 代男性)
4	[11] タルビッシュ有	MLB パドレス	42	・いち早く合宿に参加し、自分のことより若い投手達を精神的に支えている姿はチームの大きな存在であったこと、彼自身の人間としての成長も感じられとても感動した。(静岡県 60 代女性)
5	[23] ラーズ・ヌートバー	MLB カーディナルス	27	・持ち前の明るさでチームの雰囲気良く、コミュニケーション能力も抜群に優れ、野球に対して真剣、全力。(兵庫県 20 代男性)
6	[55] 村上宗隆	ヤクルト	19	・打てないと言われ、本人が一番辛かっただろうがはね返した力。(北海道 60 代女性)
7	[27] 中村悠平	ヤクルト	5	・キャッチャーとしてそれぞれの投手にアジャストして最少失点に抑えるだけでなく、打者として小技を効かせて貢献。(青森県 20 代男性)
	[25] 岡本和真	巨人	5	・ホームランも打っていたし、ここという時出番があった。(滋賀県 50 代男性)
9	[14] 佐々木朗希	ロッテ	4	・震災で父親を亡くした 3 月 11 日の登板が良かったから。(長野県 60 代女性)
	[8] 近藤健介	ソフトバンク	4	・出塁率の高さ、徹底した繋げるプレー。日本野球の見本です。(埼玉県 50 代男性)
11	[17] 伊藤大海	日本ハム	3	・無四球無安打に抑えたから。(北海道 20 代女性)
	[18] 山本由伸	オリックス	3	・大事な場面でいい投球をしたから。(香川県 40 代女性)
	[2] 源田壮亮	西武	3	・怪我を感じさせないプレーをしていた。特に準決勝の 6 回の判定で、勝利の女神を引き寄せてくれた。(大阪府 50 代女性)
14	[1] 山田哲人	ヤクルト	2	・自分の役割をしっかりとこなしてくれた。(埼玉県 20 代男性)
	[9] 周東佑京	オリックス	2	・俊足で逆転サヨナラに貢献したから。(熊本県 50 代女性)



1-2. 知名度アップ（大会前 N=10,000、大会後 N=1,000）

「たっちゃん」での相性で親しまれ、「ペッパーミル」パフォーマンスを社会現象にした、ラーズ・ヌートバー選手が1位となりました。4番に座って勝負強い打撃を見せた吉田正尚選手をはじめ、野球ファンにとってはお馴染み選手も、今回の WBC を機に一般層にまで認知を上げました。

順位	[背番号] 選手	所属チーム	ポジション	大会前認知率	大会後認知率	上昇 Pt
1	[23] ラーズ・ヌートバー	MLB カーディナルス	外野手	19.2%	64.9%	+45.7
2	[34] 吉田正尚	MLB レッドソックス	外野手	28.1%	50.9%	+22.8
3	[2] 源田壮亮	西武	内野手	25.2%	44.3%	+19.1
4	[8] 近藤健介	ソフトバンク	外野手	20.7%	39.7%	+19.0
5	[15] 大勢	巨人	投手	23.3%	41.6%	+18.3
6	[9] 周東佑京	ソフトバンク	外野手	24.9%	43.1%	+18.2
7	[21] 今永昇太	DeNA	投手	22.3%	38.9%	+16.6
8	[17] 伊藤大海	日本ハム	投手	18.6%	34.1%	+15.5
9	[27] 中村悠平	ヤクルト	捕手	18.8%	33.2%	+14.4
10	[3] 牧秀悟	DeNA	内野手	22.3%	36.5%	+14.2
11	[25] 岡本和真	巨人	内野手	36.7%	50.8%	+14.1
12	[12] 戸郷翔征	巨人	投手	23.0%	36.7%	+13.7
13	[55] 村上宗隆	ヤクルト	内野手	57.4%	70.5%	+13.1
14	[28] 高橋宏斗	中日	投手	14.9%	27.9%	+13.0
15	[22] 湯浅京己	阪神	投手	14.1%	26.5%	+12.4
16	[26] 宇田川優希	オリックス	投手	14.6%	26.5%	+11.9
17	[47] 高橋奎二	ヤクルト	投手	17.1%	27.9%	+10.8
18	[33] 山川穂高	西武	内野手	33.6%	43.6%	+10.0
19	[29] 宮城大弥	オリックス	投手	18.2%	27.0%	+8.8
	[18] 山本由伸	オリックス	投手	40.4%	49.2%	+8.8
21	[7] 中野拓夢	阪神	内野手	15.2%	23.9%	+8.7
22	[10] 甲斐拓也	ソフトバンク	捕手	35.2%	43.5%	+8.3
23	[1] 山田哲人	ヤクルト	内野手	48.2%	56.0%	+7.8
24	[14] 佐々木朗希	ロッテ	投手	68.3%	76.0%	+7.7
25	[24] 大城卓三	巨人	捕手	19.6%	26.5%	+6.9
26	[16] 大谷翔平	MLB エンゼルス	投手	84.2%	90.6%	+6.4
27	[11] ダルビッシュ有	MLB パドレス	投手	86.8%	90.8%	+4.0
28	[13] 松井裕樹	楽天	投手	36.2%	39.7%	+3.5
参考	[5] 牧原大成（追加招集）	ソフトバンク	内野手	未調査	23.6%	—
	[63] 山崎颯一郎（追加招集）	オリックス	投手	未調査	18.3%	—
	[20] 栗林良史（離脱）	広島	投手	21.8%	28.3%	+6.5
	[51] 鈴木誠也（離脱）	MLB カブス	外野手	44.5%	47.9%	+3.4

**2-1. 視聴・観戦率 (N=1,000)** ※球場での観戦、録画・ニュースやダイジェストでの視聴、テレビ以外の視聴手段を含む。

10%を超えたのはいずれも侍ジャパンに関連する試合・セレモニー（青字）で、決勝・準決勝・準々決勝・1次ラウンド（プールB）の順でした。日本戦以外の試合も2次ラウンド（準々決勝以上）は全試合が1%を超えました。

順位	ラウンド	試合（先攻-後攻）・セレモニー	N	%
1	決勝	アメリカ 2-3 日本	644	64.4%
2	準決勝	メキシコ 5-6 日本（9回サヨナラ）	629	62.9%
3	準々決勝	イタリア 3-9 日本	534	53.4%
4	プールB	韓国 4-13 日本	507	50.7%
5	プールB	日本 7-1 オーストラリア	502	50.2%
6	プールB	チェコ共和国 2-10 日本	495	49.5%
7	プールB	中国 1-8 日本	490	49.0%
8	決勝	表彰式	141	14.1%
9	準決勝	キューバ 2-14 アメリカ	26	2.6%
10	準々決勝	アメリカ 9-7 ベネズエラ	19	1.9%
11	準々決勝	プエルトリコ 4-5 メキシコ	15	1.5%
12	準々決勝	オーストラリア 3-4 キューバ	12	1.2%
13	プールA	イタリア 6-3 キューバ（延長10回）	9	0.9%
	プールB	チェコ共和国 3-7 韓国	9	0.9%
	プールD	プエルトリコ 5-2 ドミニカ共和国	9	0.9%

2-2. 満足率（視聴した人の中での満足率） ※視聴・観戦率1%以上の試合・セレモニーが対象。

吉田正尚選手による起死回生の同点3ラン、9回裏先頭打者・大谷翔平選手のヘルメットを飛ばしながらの激走と鼓舞、それまで不調に苦しんでいた村上宗隆選手のサヨナラ打など、劇的なシーンが多かった準決勝のメキシコ戦が1位となりました。1次ラウンド（プールB）の中では、野球新興国ながら善戦したチェコ共和国との試合が満足率トップでした。

順位	ラウンド	試合（先攻-後攻）・セレモニー	視聴数	満足数	満足率
1	準決勝	メキシコ 5-6 日本（9回サヨナラ）	629	592	94.1%
2	決勝	アメリカ 2-3 日本	644	595	92.4%
3	決勝	表彰式	141	86	61.0%
4	準々決勝	イタリア 3-9 日本	534	318	59.6%
5	プールB	チェコ共和国 2-10 日本	495	290	58.6%
6	プールB	韓国 4-13 日本	507	276	54.4%
7	プールB	日本 7-1 オーストラリア	502	262	52.2%
8	プールB	中国 1-8 日本	490	235	48.0%
9	準々決勝	オーストラリア 3-4 キューバ	12	4	33.3%
10	準決勝	キューバ 2-14 アメリカ	26	7	26.9%



3. 日本代表選手以外で印象に残った人物（任意回答で3人まで）

侍ジャパンの栗山監督が1位、決勝戦の最終打席で大谷投手と対戦したアメリカ代表主将マイク・トラウト選手が2位、3位はヌートバー選手の家族となりました。通訳の水原氏、各国の代表選手、コーチ、解説者、応援タレントなど、野球に詳しい人から普段野球と接点のない人まで、様々な人たちが興味を持って視聴した大会であったことがうかがえます。

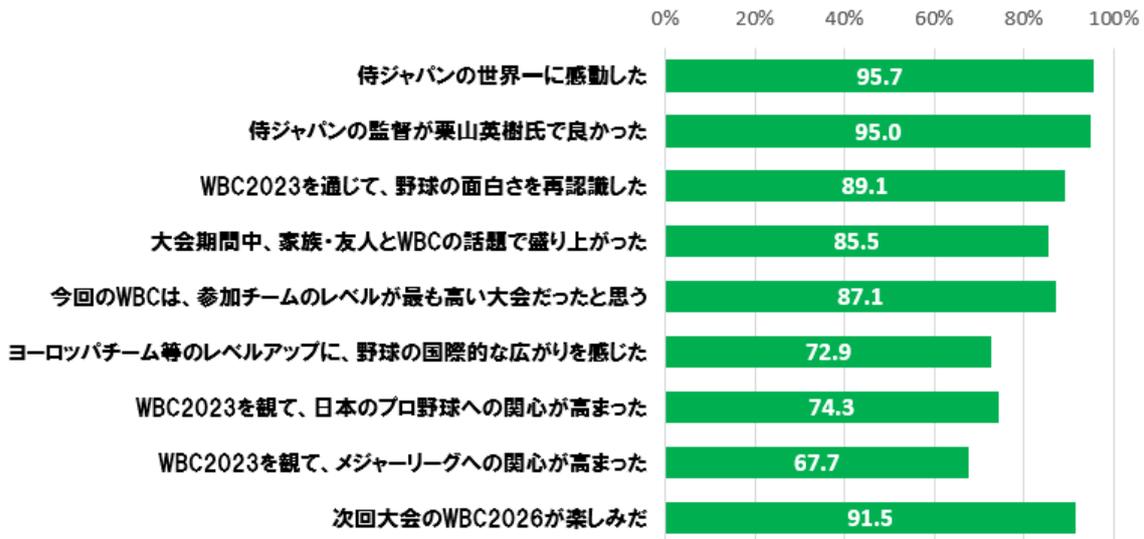
順位	人物	票数	投票理由
1	栗山英樹（侍ジャパン監督）	160	・選手選考、采配、信頼全て完璧だった。（兵庫県 50代女性） ・個が強い選手を使った素晴らしい采配。（島根県 60代男性） ・決勝進出後のインタビューで選手たちを信頼する気持ちが伝わった。特に村上くんの話ではもらい泣きした。（大阪府 50代女性）
2	マイク・トラウト（アメリカ代表）	90	・最後の大谷との対決をはじめ、一流選手として常にアメリカをひっぱっている姿が印象的だった。（大阪府 30代男性） ・MLB屈指の好打者にして大谷選手のチームメイトが決勝戦最後の打者だったのはあまりにもドラマチック。（東京都 20代男性）
3	ヌートバー選手の家族	68	・とても明るくて、あのご両親あってこそこのヌートバー選手と思いました。（神奈川県 50代女性） ・決勝の後のグラウンドでのシーンを見て、この選手に、この家族あって、感じます。（新潟県 50代男性）
4	水原一平（侍ジャパン通訳）	55	・色んな所で国際試合の大変なところをカバーしてくれた。（島根県 60代男性） ・外国人の審判や記者との間をとりもっていて安心して試合を観戦できた。（福岡県 60代女性）
5	中居正広（侍ジャパン公式サポートキャプテン）	27	・野球が大好きな事が伝わってきて楽しく聞いていられる。（群馬県 60代女性） ・「泥だらけのストッパー」の名言。（三重県 60代女性）
6	トレイ・ターナー（アメリカ代表）	23	・ホームラン5本。（福岡県 20代男性） ・最多打点を吉田選手と競っていたので。（兵庫県 30代女性）
7	ランディ・アロザレーナ（メキシコ代表）	21	・メキシコ戦はレフトに球が飛ぶと常にこの選手がいた。腕組みのパフォーマンスをはじめ、打でも印象に残った。（大阪府 30代男性）
8	吉井理人（侍ジャパン投手コーチ）	10	・自ら大リーグ経験があり、最強の投手陣を調整。（新潟県 50代男性）
9	松坂大輔（元プロ野球選手）	9	・大会経験者であり、自身の人間性が解説に現れていた。（静岡県 60代女性）
	杉谷拳士（元プロ野球選手）	9	・レポートが面白かった。（宮城県 30代女性）
	チェコ共和国代表チーム	9	・野球が本職ではないがレベルが高かった。（大阪府 20代女性）
12	ウィリー・エスカラ（チェコ共和国代表）	8	・デッドボールされても紳士的な振る舞いが良かった。（熊本県 50代女性）
13	榎原寛己（元プロ野球選手）	7	・解説が楽しい。（群馬県 60代女性）
	古田敦也（元プロ野球選手）	7	・的確な解説。（埼玉県 60代男性）
15	パトリック・サンドバル（メキシコ代表）	6	・日本戦でのピッチングは見事だった。（福岡県 20代男性）
16	白井一幸（侍ジャパンヘッドコーチ）	5	・国際大会のサードコーチャーはミスが許されないのです。（北海道 40代男性）
	中岡創一（お笑い芸人）	5	・決勝戦を観戦していた事に驚き。（長崎県 60代男性）



4-1. WBC2023 視聴者限定意識調査 (N=715)

WBC2023 を多少なりとも視聴した人は 1,000 人中 715 人にも上り、そのうち「世界一に感動」「栗山監督で良かった」との回答は驚異の 95% 超えでした。「野球の面白さを再認識」「家族・友人と盛り上がった」も 9 割近くに上りました。

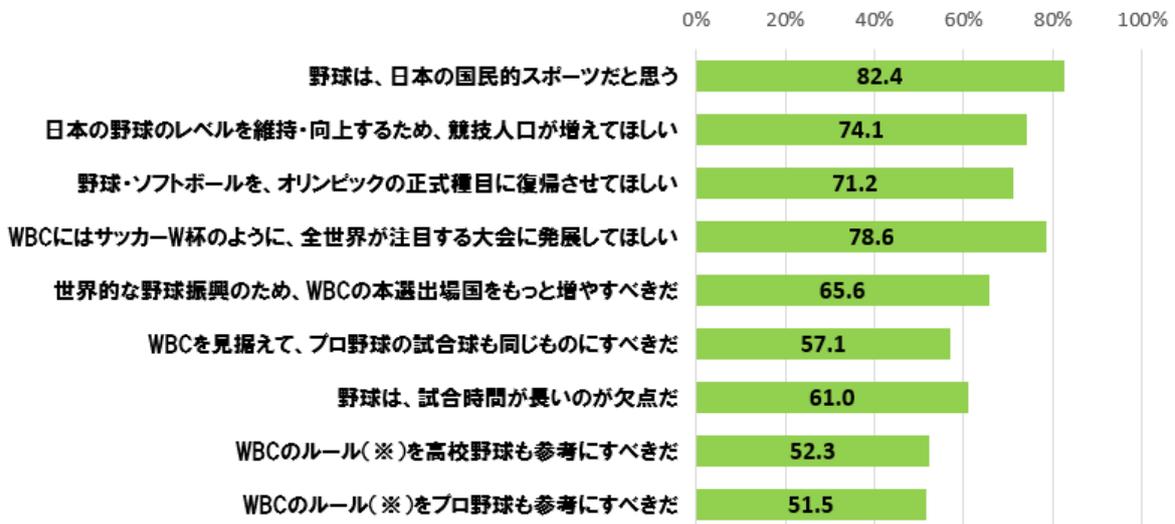
その背景に、参加チームのレベルの高さ、新興国のレベルアップによる真剣勝負の多さがあったといえるでしょう。回答者 715 人に占める非プロ野球ファンは 309 人 (43.2%) でしたが、WBC2023 をきっかけにプロ野球やメジャーリーグへの関心が高まり、次回大会への期待も膨らんだようです。



4-2. 一般意識調査 (N=1,000) ※WBC のルールとして「球数制限・登板間隔・ワンポイントリリーフ禁止など」を例示。

非プロ野球ファンが過半数 (55.8%) を占める全体調査においても、「野球は日本の国民的スポーツ」との立場が 8 割を超え、「競技人口が増えてほしい」との意見も 7 割強となりました。野球を五輪に復帰させるよりも、サッカーW杯のようにWBC 自体を発展させる方向に世論が傾きつつある一方で、「出場国増加」「試合球の統一」へは慎重論も見られます。

タイパ (タイムパフォーマンス：時間対効果) 時代とも言われる昨今、野球の欠点として「試合時間の長さ」を 6 割強の人々が認識しつつも、今回の WBC で見られた「ワンポイントリリーフ禁止」といったルールの高校野球やプロ野球への導入については賛否両論です。WBC 世界一によりライト層の取り込みに大成功を取めた日本球界ですが、その関心を持続させるためには課題も山積しています。





【調査概要】

調査方法：インターネットリサーチ

調査期間：2023年3月23日～26日の4日間

調査対象：20歳から69歳までの男女1,000人（地域・性年代構成比は、総務省統計局最新推計比率に準拠）

調査担当：小野田哲弥（産業能率大学スポーツマネジメント研究所研究員／情報マネジメント学部教授）

集計協力：小川太陽・小池英華・松浦航太（小野田ゼミ）

地方	主要属性	全体	男性	女性	ファンチーム												なし・その他
					セ・リーグ						パ・リーグ						
					ヤ	De	神	巨	広	中	オ	ソ	西	楽	ロ	日	
1	北海道	40	19	21				2								20	18
2	東北	67	34	33	2		1	7	1			1	2	18	2	1	32
3	関東	361	185	176	13	16	6	36	6	5	6	13	13	10	13	12	212
4	甲信越・北陸	61	31	30	3	2	2	6	1	1		2	2	1		1	40
5	東海	117	60	57	3	1	6	4	3	17	1	4	3	4		5	66
6	近畿	162	80	82			35	7	3		13	3		2	1	4	94
7	中国	55	28	27		1	4	4	18	2	2	4					20
8	四国	26	13	13			2	3			1			1		1	18
9	九州・沖縄	111	54	57			3	7	2		1	33	1		1	5	58
合計		1,000	504	496	21	20	59	76	34	25	24	60	21	36	17	49	558

【産業能率大学】

■ホームページ：<https://www.sanno.ac.jp/>

◆本件に関するご取材・お問い合わせ◆

産業能率大学 企画課

〒158-8630 東京都世田谷区等々力6-39-15

Email：kikaku@hj.sanno.ac.jp TEL:03-3704-0731